

福井県後期高齢者医療広域連合告示第11号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第243条の3第1項及び福井県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例（平成19年条例第19号）第3条第2項の規定に基づき、平成23年4月1日から平成23年9月30日までの財政状況及び平成22年度の決算の概況を、次のとおり公表する。

平成23年12月14日

福井県後期高齢者医療広域連合長 東村 新一

1 歳入歳出予算の執行の概況

(1) 平成23年度一般会計（平成23年9月30日現在）

【歳入】 (単位：千円、%)

区分（款）	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 分担金及び負担金	454,700	227,364	50.0
2 国庫支出金	165	225	136.4
4 繰越金	1	36,849	3,684,900.0
5 諸収入	95	130	136.8
合計	454,961	264,568	58.2

【歳出】 (単位：千円、%)

区分（款）	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 議会費	1,447	20	1.4
2 総務費	167,656	73,125	43.6
3 民生費	283,985	0	0.0
4 諸支出金	1	0	0.0
5 予備費	1,872	0	0.0
合計	454,961	73,145	16.1

(2) 平成23年度後期高齢者医療特別会計（平成23年9月30日現在）

【歳入】

(単位:千円、%)

区分(款)	予算現額 A	収入済額 B	収入率 B/A
1 市町支出金	15,001,385	6,142,952	40.9
2 国庫支出金	30,565,607	17,886,888	58.5
3 県支出金	7,643,843	4,903,584	64.2
4 支払基金交付金	39,262,756	15,863,414	40.4
5 特別高額医療費共同事業交付金	9,529	0	0.0
6 財産収入	1	0	0.0
8 繰入金	1,670,230	0	0.0
9 繰越金	1	949,439	94,943,900.0
11 諸収入	5	27,650	553,000.0
合計	94,153,357	45,773,927	48.6

【歳出】

(単位:千円、%)

区分(款)	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A
1 総務費	326,739	130,375	39.9
2 保険給付費	93,489,242	39,875,071	42.7
3 県財政安定化基金拠出金	81,761	0	0.0
4 特別高額医療費共同事業拠出金	17,921	0	0.0
5 保健事業費	198,132	0	0.0
6 基金積立金	1	0	0.0
7 公債費	1	0	0.0
8 諸支出金	14,702	9,255	63.0
9 予備費	24,858	0	0.0
合計	94,153,357	40,014,701	42.5

2 財産、地方債及び一時借入金の概況

(1) 財産

①公有財産	平成23年9月末現在所有なし
基金	平成23年9月末現在高
後期高齢者医療制度臨時特例基金	1,162,977,935円
療養給付費等準備基金	2,569,161,707円

(2) 地方債 平成23年9月末現在借入なし

(3) 一時借入金 平成23年9月末現在借入なし

3 平成22年度決算の概況

(1) 一般会計決算の状況

① 決算規模並びに収支の状況

平成22年度における一般会計の歳入及び歳出の決算規模は、第1表の1及び第1表の2のとおりである。

(第1表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

年度等 区分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	527,015,450	609,263,576	82,248,126	13.5
歳出	490,166,524	545,344,474	55,177,950	10.1
差引	36,848,926	63,919,102	27,070,176	42.4

(第1表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

年度等 区分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	526,926,000	527,015,450	89,450	100.0
歳出	526,926,000	490,166,524	36,759,476	93.0

平成22年度の決算額は、歳入5億2,701万5,450円、歳出4億9,016万6,524円で、歳入歳出差引額は3,684万8,926円となった。

また、予算現額との差引額は、歳入で8万9,450円、歳出で3,675万9,476円であった。

歳出の執行率が93.0%であった主な原因は、療養給付費等が当初の見込みよりも減少したため、レセプト件数が減少してレセプト点検委託料が減少したこと、同じ理由で福井県国民健康保険団体連合会に委託している情報の電算処理件数も減少したこと、医療費通知数も見込みよりも少なくなったため郵送料金

が減ったこと等により、特別会計への繰出金に 1,968 万 1,819 円の不用額が生じたこと及び、職員が 1 人減ったこと等で、総務管理費に 1,542 万 342 円の不用額が生じたためである。

歳入の状況

平成 22 年度の歳入決算額は、5 億 2,701 万 5,450 円で、前年度決算額と比較して 8,224 万 8,126 円の減（第 2 表の 1）、予算現額と比較して 8 万 9,450 円の増（第 2 表の 2）となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、分担金及び負担金が 4 億 6,252 万 2,214 円、繰越金が 6,391 万 9,102 円となっている。

前年度決算額と比較して減となった主な要因としては、市町負担金が 3,463 万 2,552 円、前年度繰越金が 4,748 万 3,751 円の減額となったこと等によるものである。

（第 2 表の 1） 前年度決算額との比較

（単位：円、％）

区分	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 分担金及び負担金	462,522,214	87.8	497,154,766	34,632,552	7.0
2 国庫支出金	244,260	0.0	230,000	14,260	6.2
4 繰越金	63,919,102	12.1	111,402,853	47,483,751	42.6
5 諸収入	329,874	0.1	475,957	146,083	30.7
合計	527,015,450	100.0	609,263,576	82,248,126	13.5

（第 2 表の 2） 予算現額との比較

（単位：円、％）

区分	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入未済額 B-C	予算現額と 決算額との 比較 C-A
1 分担金及び負担金	462,523,000	462,522,214	462,522,214	0	786
2 国庫支出金	122,000	244,260	244,260	0	122,260
4 繰越金	63,921,000	63,919,102	63,919,102	0	1,898
5 諸収入	360,000	329,874	329,874	0	30,126
合計	526,926,000	527,015,450	527,015,450	0	89,450

歳出の状況

平成22年度の歳出決算額は、4億9,016万6,524円で、前年度決算額と比較して5,517万7,950円の減（第3表の1）、不用額は3,675万9,476円（第3表の2）となった。

歳出決算額の内訳をみると、議会費が91万9,947円、職員給与費をはじめとする広域連合運営経費の総務費が1億4,791万8,294円、特別会計への繰出金である民生費が2億7,740万9,181円、諸支出金が6,391万9,102円となっている。

前年度決算額と比較して減となった主な要因としては、特別会計への繰出金が264万9,551円増加したが、人件費や委託料等の総務費が967万9,403円、前年度決算剰余金を市町に返還するための償還金が4,748万3,751円減額したためである。

予算現額に対する執行率及び不用額は、議会費が63.6%で52万7,053円、総務費が90.5%で1,547万5,706円、民生費が93.4%で1,968万1,819円、諸支出金が100.0%で898円となっている。

また、予備費は執行しなかった。

（第3表の1） 前年度決算額との比較

（単位：円、％）

区分	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 議会費	919,947	0.2	1,584,294	664,347	41.9
2 総務費	147,918,294	30.2	157,597,697	9,679,403	6.1
3 民生費	277,409,181	56.6	274,759,630	2,649,551	1.0
4 予備費	0	0	0	0	
5 諸支出金	63,919,102	13.0	111,402,853	47,483,751	42.6
合計	490,166,524	100.0	545,344,474	55,177,950	10.1

(第3表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区分	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 議会費	1,447,000	919,947	527,053	63.6
2 総務費	163,394,000	147,918,294	15,475,706	90.5
3 民生費	297,091,000	277,409,181	19,681,819	93.4
4 予備費	1,074,000	0	1,074,000	0
5 諸支出金	63,920,000	63,919,102	898	100.0
合計	526,926,000	490,166,524	36,759,476	93.0

(2) 後期高齢者医療特別会計決算の状況

① 決算規模並びに収支の状況

平成22年度における特別会計の歳入及び歳出の決算規模は、第4表の1及び第4表の2のとおりである。

(第4表の1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

年度等 区分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比率	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
歳入	92,734,599,971	90,285,815,491	2,448,784,480	2.7
歳出	91,785,161,416	87,542,751,823	4,242,409,593	4.8
差引	949,438,555	2,743,063,668	1,793,625,113	65.4

(第4表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

年度等 区分	予算現額 A	決算額 B	差引額 A-B	執行率 B/A
歳入	92,936,675,000	92,734,599,971	202,075,029	99.8
歳出	92,936,675,000	91,785,161,416	1,151,513,584	98.8

平成22年度の決算額は、歳入927億3,459万9,971円、歳出917億8,516万1,416円で、歳入歳出差引額は9億4,943万8,555円となった。

この差引額については、国、県及び市町の療養給付費負担金並びに社会保険診療報酬支払基金からの後期高齢者交付金の精算分は、それぞれに返還し、保険料は、療養給付費等準備基金に積み立てることとする。

また、予算現額との差引額は、歳入で2億207万5,029円、歳出で11億5,151万3,584円であった。

歳出については、療養給付費等に要する経費が当初見込みを下回ったこと等によるものである。

歳入については、療養給付費の減に伴い、社会保険診療報酬支払基金からの後期高齢者交付金が減額されたこと、また、療養給付費等準備基金からの保険料抑制分の繰り入れが必要なくなったことによるものである。

歳入の状況

平成22年度の歳入決算の総額は、927億3,459万9,971円で、前年度決算額と比較して24億4,878万4,480円の増（第5表の1）、予算現額と比較して2億207万5,029円の減（第5表の2）となった。

歳入決算額の主な内訳をみると、市町支出金が144億9,676万9,620円、国庫支出金が301億4,174万5,254円、県支出金が74億3,043万1,849円、支払基金交付金が368億5,971万2,000円、繰越金は27億4,306万3,668円となっている。

予算現額と比較して2億207万5,029円減となった主な要因は、前述のとおり、社会保険診療報酬支払基金からの交付金の減額、療養給付費等準備基金からの繰り入れが必要なくなったことによるものである。

（第5表の1） 前年度決算額との比較

（単位：円、％）

区分	決算額 A	決算額 構成比	前年度 決算額 B	対前年度比	
				増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 市町支出金	14,496,769,620	15.6	14,264,845,307	231,924,313	1.6
2 国庫支出金	30,141,745,254	32.5	29,768,383,979	373,361,275	1.3
3 県支出金	7,430,431,849	8.0	6,958,923,823	471,508,026	6.8
4 支払基金交付金	36,859,712,000	39.8	35,622,394,000	1,237,318,000	3.5
5 特別高額医療 費共同事業交付金	12,542,053	0.0	8,001,146	4,540,907	56.8
6 財産収入	2,993,115	0.0	0	2,993,115	皆増
8 繰入金	957,340,850	1.0	925,603,966	31,736,884	3.4
9 繰越金	2,743,063,668	3.0	2,694,088,549	48,975,119	1.8
11 諸収入	90,001,562	0.1	43,574,721	46,426,841	106.6
合計	92,734,599,971	100.0	90,285,815,491	2,448,784,480	2.7

(第5表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区分	予算現額 A	調定額 B	決算額 C	収入 未済額 B-C	予算現額と決 算額との比較 C-A
1 市町支出金	14,626,367,000	14,496,769,620	14,496,769,620	0	129,597,380
2 国庫支出金	29,714,217,000	30,141,745,254	30,141,745,254	0	427,528,254
3 県支出金	7,257,878,000	7,430,431,849	7,430,431,849	0	172,553,849
4 支払基金交付金	37,326,591,000	36,859,712,000	36,859,712,000	0	466,879,000
5 特別高額医療 費共同事業交付金	8,001,000	12,542,053	12,542,053	0	4,541,053
6 財産収入	2,449,000	2,993,115	2,993,115	0	544,115
8 繰入金	1,258,102,000	957,340,850	957,340,850	0	300,761,150
9 繰越金	2,743,065,000	2,743,063,668	2,743,063,668	0	1,332
1 1 諸収入	5,000	90,001,562	90,001,562	0	89,996,562
合計	92,936,675,000	92,734,599,971	92,734,599,971	0	202,075,029

歳出の状況

平成22年度の歳出決算の総額は、917億8,516万1,416円で、前年度決算額と比較して42億4,240万9,593円の増(第6表の1)、不用額は11億5,151万3,584円(第6表の2)となった。

歳出の決算額の内訳をみると、医療費通知や電算システム構築等業務委託料等の事務的経費として、総務費が3億799万2,905円、療養給付費や高額療養費、葬祭費、福井県国民健康保険団体連合会への審査支払手数料等の保険給付費が878億5,500万465円、県財政安定化基金への広域連合負担分(負担割合3分の1)である拠出金が8,176万444円、市町が行う健康診査事業への補助金である保健事業費が8,993万5,031円、国からの円滑運営臨時特例交付金の基金積立金及び保険料剰余金を積み立てる療養給付費等準備基金積立金が16億7,150万1,394円、保険料還付金や国・県・市町等に対する返還金等の諸支出金が17億6,107万1,190円となっている。

また、公債費及び予備費は執行しなかった。

予算現額に対する執行率及び不用額は、総務費が93.7%で2,062万1,095円、保険給付費が98.8%で10億5,263万535円、県財政安定化基金拠出金が

100.0%で 556 円、特別高額医療費共同事業拠出金が 100.0%で 2,013 円、保健事業費が 74.6%で 3,066 万 4,969 円、基金積立金が 100.0%で 1,606 円、諸支出金が 99.8%で 418 万 8,810 円となっている。

保健事業費の執行率が低かったのは、健康診断の受診者が当初の見込みよりも減ったためである。

(第 6 表の 1) 前年度決算額との比較

(単位：円、%)

年度等 区分	決算額 A	前年度 決算額 B	対前年度比率	
			増減額 C (A-B)	増減率 C/B
1 総務費	307,992,905	293,912,039	14,080,866	4.8
2 保険給付費	87,855,000,465	83,466,394,693	4,388,605,772	5.3
3 県財政安定化 基金拠出金	81,760,444	75,525,733	6,234,711	8.3
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	17,899,987	17,472,717	427,270	2.4
5 保健事業費	89,935,031	70,627,356	19,307,675	27.3
6 基金積立金	1,671,501,394	2,453,772,862	782,271,468	31.9
7 公債費	0	0	0	-
8 諸支出金	1,761,071,190	1,165,046,423	596,024,767	51.2
9 予備費	0	0	0	-
歳出合計	91,785,161,416	87,542,751,823	4,242,409,593	4.8

(第6表の2) 予算現額との比較

(単位：円、%)

区分	予算現額 A	決算額 B	不用額 A-B	執行率 B/A
1 総務費	328,614,000	307,992,905	20,621,095	93.7
2 保険給付費	88,907,631,000	87,855,000,465	1,052,630,535	98.8
3 県財政安定化 基金拠出金	81,761,000	81,760,444	556	100.0
4 特別高額医療費 共同事業拠出金	17,902,000	17,899,987	2,013	100.0
5 保健事業費	120,600,000	89,935,031	30,664,969	74.6
6 基金積立金	1,671,503,000	1,671,501,394	1,606	100.0
7 公債費	1,000	0	1,000	0
8 諸支出金	1,765,260,000	1,761,071,190	4,188,810	99.8
9 予備費	43,403,000	0	43,403,000	0
歳出合計	92,936,675,000	91,785,161,416	1,151,513,584	98.8